

執筆者及び翻訳者紹介（掲載順）

| | |
|-------------------|------------------|
| 菅野 敦志（すがの あつし） | 名桜大学国際学群 |
| 宮岡真央子（みやおか まおこ） | 福岡大学人文学部 |
| 赤松美和子（あかまつ みわこ） | 大妻女子大学比較文化学部 |
| 家永 真幸（いえなが まさき） | 東京女子大学現代教養学部 |
| 川上 桃子（かわかみ ももこ） | アジア経済研究所地域研究センター |
| 尤 美女（ゆう びじょ） | 中華民国立法院 |
| 沈 秀華（しん しゅうか） | 国立清華大学社会学研究所 |
| 鈴木 賢（すずき けん） | 明治大学法学部 |
| 梁 鎮輝（りょう ちんき） | 宇都宮大学大学院 |
| 星名 宏修（ほしな ひろのぶ） | 一橋大学大学院言語社会研究科 |
| 五十嵐隆幸（いがらしたかゆき） | 防衛大学校総合安全保障研究科 |
| 新田 龍希（にった りゅうき） | 東京大学教養教育高度化機構 |
| 巫 靚（うー りゃん） | 京都大学総合人間学部 |
| 林 政佑（りん せいゆう） | 京都大学法学研究科 |
| 吉田 真悟（よしだ しんご） | 一橋大学大学院言語社会研究科 |
| 張 文菁（ちょう ぶんせい） | 早稲田大学文学学術院 |
| やまだあつし（やまだ あつし） | 名古屋市立大学人間文化研究科 |
| 下野 寿子（しもの ひさこ） | 北九州市立大学外国語学部 |
| 伊藤 信悟（いとう しんご） | 国際経済研究所 |
| 根岸 忠（ねぎし ただし） | 高知県立大学文化学部 |
| 沼崎 一郎（ぬまざき いちろう） | 東北大学大学院文学研究科 |
| 中村 平（なかむら たいら） | 広島大学大学院文学研究科 |
| 下村作次郎（しもむら さくじろう） | 天理大学 |

編集委員

上水流久彦（委員長）、駒込武、佐藤幸人（副委員長）、唐顥芸、松田京子、松本充豊、三須祐介。

長谷川健治（英文アドバイザー）

編集後記

遅くなりましたが、第21号をお届けします。充実した形で本学術雑誌を発行できますのは、一般財団法人台湾協会のご支援のおかげです。発行にあたりまして、最初に厚く御礼を申し上げます。

創立20周年の学術大会の充実を受け、今号では二つのシンポジウムの文章があります。ひとつは、台湾における同性婚の合法化をテーマとした国際シンポジウムです。もうひとつは、日本の台湾研究の回顧をテーマとしたシンポジウムです。現在の台湾を理解するうえで、二つのシンポジウムの文章はとても貴重なものとなっています。これらのシンポジウムを準備してくださった皆様、ありがとうございました。また、前号から始めたシリーズ「台湾研究を始めるということ」については、下村作次郎名誉理事長にお願いしました。

今号では投稿が17本で、論文5本、研究ノート1本となりました。また書評も2本投稿があり、それらとあわせて書評は7本となりました。昨年も書評が7本あり、書評コーナーが定着してきたと考えています。投稿数も前号の11本より6本増え、編集委員会としては、学会誌に関心を持っていただく方が増えありがたく思っております。学会活動の基盤は学会発表、論文、そして会員間のその共有です。これらの活動の根幹を支えるものが、学会発表への応募や論文等への投稿だと思います。これからも多くの会員の方々に投稿いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

最後になりましたが、今号発行においても、執筆者、査読を引き受けてくださった学会内外の方、投稿くださった会員の方、文成印刷の皆様にご心より御礼申し上げます。また、次号で編集委員が大きく変わります。一人ひとりのお名前は出しませんが、編集委員として2期4年、または1期2年をつとめていただき、編集委員をお願いした立場の者として心より感謝いたします。査読者の選定、依頼、査読結果の検討などご自身の教育・研究が忙しいなか、編集作業に時間を割いていただきました。

(編集委員長 上水流久彦)

日本台湾学会報 第21号 2019年7月31日発行

編集・発行：日本台湾学会『日本台湾学会報』編集委員会
〒261-8545 千葉県美浜区若葉3-2-2
日本貿易振興機構 アジア経済研究所
川上桃子研究室気付
E-mail：nihontaiwangakkai@gmail.com
ウェブサイト：http://www.jats.gr.jp/